

第17回ムズィークヴァルトコンサート

MusikWald

「ウィンナー・クラシック」 モーツァルトの響き

＜オール・モーツァルト・プログラム＞

ディヴェルティメント ニ長調K.136

フルートとハープのための協奏曲 ハ長調K.299

交響曲第41番 ハ長調K.551「ジュピター」

浮ヶ谷孝夫 指揮 東京21世紀管弦楽団

浮ヶ谷順子 フルート 篠原英子 ハープ



浮ヶ谷順子



篠原英子



2025 **11/24** (月・祝) 12:30開場 13:30開演 **新座市民会館**

主催：ムズィークヴァルト 後援：新座市、新座市教育委員会、新座市文化協会、新座市国際交流協会

チケット料金(全席自由) 一般：3,500円(前売3,000円) 高校生：1,000円 小中学生は無料

チケットのお求め・お問い合わせは

●ムズィークヴァルト 080-4298-9246(大竹) 090-7283-7680(岡本) <https://www.facebook.com/profile.php?id=100064423640453>

●新座市民会館【窓口・電話予約】048-481-1111 ※開演時間：9:00～21:30 ※休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日) ※車いすでご来場の方は、チケット購入前に会館までお問合せください。



浮ヶ谷孝夫 (指揮者)

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科に入学しヘルベルト・アレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはボヘミアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たした。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得ている。1989年より「北ドイツ放送ラジオフィルハーモニー・フィルハーモニー・ハノーバー」と多数のCD音。「ポーランド国立放送交響楽団」に客演指揮者として数多くのコンサートを指揮し、ユネスコ現代音楽祭に参加し、「グランプリ」を獲得した。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・フンガリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には同楽団の首席客演指揮者に就任。同年、ブランデンブルグ州ノイルンペリン音楽協会の理事長兼音楽監督に就任。同年、州文化省より「文化賞」を受賞した。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ・谷プロデュース・コンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティ・フィル、東京・ニューシティ管、日本センチュリーなどと共演し、多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。

東京21世紀管弦楽団

Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる定期公演、自主公演は東京国際フォーラムホールC、東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フロレス、ヴィットリオ・グリゴリオとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回ショパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カレーラス&プラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博すなど、その活動の場を広げている。



浮ヶ谷順子
フルート

東京に生まれる。14歳より吉田雅夫教授のもとでフルートを学び始め東京芸大にて吉田雅夫氏、川崎優氏に師事。1978年渡独。カラヤン財団奨学生としてベルリンフィルオーケストラアカデミーで首席フルート奏者アンドレアス・ブラウ氏に師事。ソロの音楽会をはじめ室内楽、ベルリンフィル定期演奏会にも第二フルート奏者として3年間に渡り数多く出演し、故ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮のザルツブルク音楽祭にも参加し研鑽を積む。平成天皇皇后両陛下、そして皇太子殿下(現、令和天皇陛下)ベルリン訪問の際にはドイツ政府の依頼でベルリンフィルメンバー、ベルリン放送響(現、ドイチュシムフオーニオー・オーケストラ)のメンバーの伴奏でフルート協奏曲を御前演奏した。その後、ソリストとしての道を選び、ボヘミアンフィル、ビドゴシュ室内管弦楽団、ライプツィヒカンマーソリスト、東京フィルハーモニー、名古屋フィルハーモニー、ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト等、多くのオーケストラとソリストとして共演。ヨーロッパと日本を中心に活動している。2007年、ドイツ大手のCD会社ベラムジカと契約、ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト(浮ヶ谷孝夫指揮)とモーツァルトフルート協奏曲のCDをリリースし、2009年下半年ヨーロッパの放送局から、全てのモーツァルトの中で一番多く放送されたCDに選ばれた。その他にもJ.S.バッハソナタ集、フランク・プロコフィエフなどのソナタ集、フルート小品集、イタリアのフルート協奏曲集、フルート名曲集を録音。数多くの音楽専門誌にて絶賛されている。ドイツ国内始めヨーロッパ各地、日本では東京文化会館(2014年 2017年 2018年、労音主催)のリサイタルを行い、出身地の川口、新座市、柴又帝釈天等でも行なっている。また、2010年より豊橋オーケストラキャンプに参加。多くの室内楽コンサートにも出演。近々では、2022年8月には地元ノイルンペリン市で行なわれたオープンエアーのコンサートにブランデンブルグ国立管弦楽団のソリストとして共演している。



篠原英子
ハープ

いわき市四倉出身。4才よりピアノを若松紀志子氏に師事。10才よりヨセフ・モルナル氏にハープを師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学演奏学科へ進学。ウィーン・コンセルヴァトワールサマーセミナーにおいてディプロマ取得。イギリスハープコングレス、ウィーンハープコングレスに参加。第一回日本ハープコンクール入賞。桐朋学園大学及び同大学院研究科修了。現在オーケストラ及び室内楽、ソロにて活動中。

Musik Wald

ムズィークヴァルトは豊かな自然に囲まれた平林寺の歴史を肌で感じながら「新座市民会館で素晴らしい音楽を聴こう」そんな思いで2008年(平成20年)に発足しました。「良い音楽を鑑賞しやすい料金でみんなで楽しもう」との基本理念のもと良い音楽を聴くことを通して新座市の芸術、文化の振興と発展に寄与する事を、さらに併せて将来を担う青少年や子どもたちが生の良い音楽に触れることで豊かな情操と教育を育んでいく一助になれるようにと願っています。

会員募集

私たちは年に1、2回新座市民会館などでクラシック音楽の演奏会を開催し市民の皆さまに気軽に音楽を楽しむ機会を提供しています。このようなムズィークヴァルトにご興味があり、賛同して一緒に活動して下さる方を募集中です。代表:小川園江

新座市民会館

埼玉県新座市野火止1丁目1-2

ひばりが丘・東久留米・志木の各駅より西武バスにて「新座市役所前」下車、徒歩3分。

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



◀X
(Musik Wald)
facebook▶

